

高陽東高等学校 特色ある授業「世界事情」 今回のテーマ「マレーシアの文化」

令和2年11月4日(水) 3・4限 実施

講師：三木 洋子 先生

中 ルール 先生

今回は、東南アジアの国で、多民族が調和し、独自の文化を持つマレーシアの文化について、紹介していただくとともに、多文化共生のマレーシア文化の体験をさせていただきました。



授業の様子

民族構成は、マレー系、華人(中国)系、インド系の順で多く、使用言語は民族によって大きく違います。例えば、マレー系ならマレー語、中華系なら中国語、インド系はタミル語というようにです。公用語はマレーシア語、英語は共通語として通用します。宗教的にはマレーシアの国教はイスラム教です。



民族衣装を着てみる体験

授業では、マレーシア語を紹介してもらうとともに生徒たちが英語で質問してマレーシア語と英語で講師の先生に答えてもらったり、民族衣装を着る体験をさせていただきました。

また、伝統的なデザートを紹介や、竹製の民族楽器(アングルン)の紹介及び演奏も体験させていただきました。実はあまり知らなかったことの多いマレーシアの文化に驚くことが少なくありませんでした。

今回の授業によってマレーシアについてその文化や現状を知ることができただけでなく、多文化共生について考える機会にもなりました。また、マレーシアという国は多言語使用という意味ではまさに“グローバル”社会なのだと気づかされました。

三木先生、ルール先生、この度は本当にありがとうございました。